

# 外山日和

## がんばれ！たぶちくん編

2016

8月号 第7号

# 空き家活用！



作成者:田渕琢真

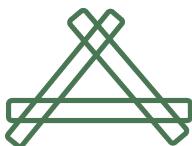
## ゲストハウスとは？

1泊2000円～5000円の素泊まりが一般的な簡易宿泊所。現在は食事を提供するところも増えてきます。自宅の部屋を宿泊所にした民泊や農家の家に泊まる農家民宿も人気です。外山は農家民宿に近い宿泊施設になる予定です。



## 県内にある吉民家ゲストハウス

**田**舎で生活したい人は増えています。都会の喧騒から遠ざかり、自然の中で暮らすことは物理的な便利さよりも魅力的と思う人は増加傾向で、『田舎暮らし』はちょっとした流行になっています。



活動させて頂きました(6/20～7/21)

- 6/26 播木講習参加、播木栽培中  
7/3 本巣を盛上げる人々の寄り合い開催  
7/7 神海サロン参加  
7/8 ウォーク大会おもてなし実行委員会 話し合い参加  
7/11、12 美濃市ゲストハウス視察研修

切った竹を重ねて3角形を作ります(図左)。竹に穴を空けて、ボルトで固定します。紐でもきつく結べはある程度固定できます。ハウスの奥行きによつて作る数を調整してください。竹の太さは直径10cm以上あつた方が強度の高いハウスになります。続きは次号お楽しみに♪

構造、骨組の説明に入ります。その前にハウスの建設の目的を明確にしましよう。用途によつてハウスのサイズが変わつてきます。育苗であります。左写真の△の一辺が2mほどの方が栽培作業は窮屈になりますが建設は非常に容易になります。手押しの耕運機も問題なく入れます。家庭菜園は規模ならこの大きさで可能です。不自由なく動ける辺にしたい！方には大きさに切つください。

## “竹のビニールハウス” 建設説明書②構造について



Facebook 本巣 地域おこし協力隊



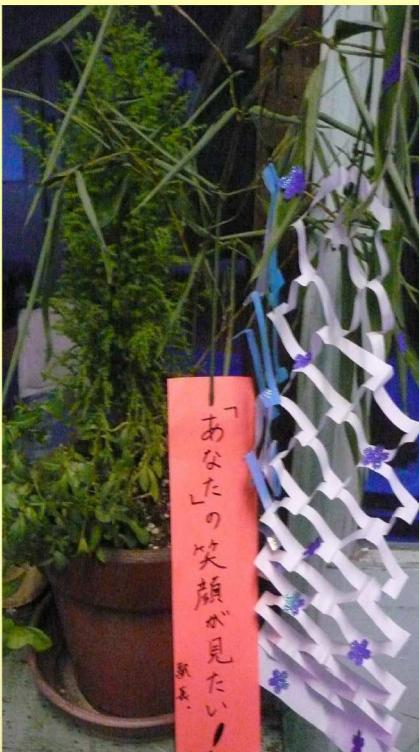
おまけのなぞなぞ: Aさんは車を手で止めました。なぜでしょう?? 答えは次号! 先月号の答え:氷

# 外山日和

2016年8月号  
～星降る夜に～

## 6代日本巣市地域おこし協力隊 外山地域担当:瀬古 真也

私は、「夢」って大人が考へるよりも軽くていいと思ひます。ある漫画では「たまに頼れる友達のような感覚」と描かれていました。素敵なもの表現じやありませんか？昔、教育実習で小学校６年生の生徒に「将来の夢」という授業をしたことがありました。今振り返れば、後悔の気持ちでいいっぱいです。夢なんて、あつてもなくてもいい。変わつても諦めてもいい。自慢できるようなものでなくていい。今ならそう伝えたいです。外山の子ども達が、短冊に書いた夢のように純粹なまま育つてくれることを願います。



【夢の破片（かけら）】  
7月上旬、地域のお父さん・お母さん方にご協力頂き、神海駅前に七夕飾りを設けました。短冊は、主に子ども達が書いてくれて、数えてみたら百枚を超えていて驚きました！片付けるときには少し寂しい気持ちにもなりましたが、一枚一枚短冊を回収していくふと気づいたことがありました。  
どちらも、本当にささやかな願い事ばかりで、この短冊には彼らの「夢」が詰まっているようにも感じました。そういうと少し大袈裟な言い方にも聞こえますが――



樽見鉄道/地域福祉/陸上・ランニング等について、何かご希望(ご要望・リクエスト)がございましたら、下記のアドレスまでお気軽にご声かけくださいませ。

muddy\_hero@yahoo.co.jp



**【再会と約束】**

「7月某日、突然の来客がありました。写真でいうと、真ん中に写つてゐる彼・田中くんは、お隣の関市上之保の協力隊員です。この日は、レールバスを写真に収めようと愛用のカメラを担いでやつて來たとのことです。久々に見る彼は、とても充実した表情をしていました。

